



令和6年6月15日、札幌大学みらい共創スクエアを会場に「まちづくりフェスタ」を開催しました。二度目の開催となった今年は、昨年よりも多くの団体にご協力をいただき、大盛況のうちに無事終わることができました。今回は経営学専攻3年国村桃香が、栗山町ブースについてご紹介していきます！



栗山町がサツダイにやってくる！



栗山町はどんなところ？



栗山町は札幌市や新千歳空港、苫小牧港からそれぞれ車で約1時間の道央に位置しています。オオムラサキという絶滅危惧種の国蝶が生息しており自然豊かな地域です。北海道のカントリーサイン（市町村の境界に設置されている看板）にはその町の特徴を表すイラストが描かれていますが、この町はオオムラサキのデザインになっています。そして栗山町には「栗の樹ファーム」という少年野球場があります。北海道日本ハムファイターズ・野球日本代表「侍ジャパン」の監督を務めた栗山英樹さんが造った場所です。同じ名前という縁で町側から観光大使を打診されたことがきっかけだそうです。

栗山町公式
ホームページ



<サポート学生>

経済学専攻2年 伊達 誠真

経済学専攻2年 箕輪 憲人

法学専攻3年 岩田 英太郎

リベラルアーツ専攻2年 精進 菜絆

スポーツ文化専攻1年 手島 舞桜



まちづくりフェスタに向けた事前準備



栗山町地域おこし協力隊の北山沙也加さんが運営する地域食材を活用したクレープブランド「SmileBack Foodtruck」を出店いただきました。事前準備から当日までの活動の様子を紹介します。

緊張した面持ちで臨んだ顔合わせから、オンラインツールなどを活用して打合せ・交流を深めました。話し合いを重ねる中で、札幌大学がある豊平区の土地の歴史にちなんだ、リンゴを使った限定コラボのクレープサンドを販売することになりました。



学生が栗山町を訪れ、実際に接客・販売する様子を見学するとともに、商品開発に向けた打ち合わせを行いました。

地域紹介カードで紹介するオオムラサキ館やなかよし動物園なども見学させていただき、実際に見て、知ることで、栗山町への理解を深めることができ、来場者の方とコミュニケーションを図る際に、知見を活かすことができました。





イベント当日の様子



当日は天候に恵まれたこともあり、多くの来場者を迎えました。会場の熱気に負けじと、襟に「KURIYAMA」、背中に「祭」と描かれたはっぴを羽織り、皆で一丸となって、まちフェスを盛り上げました！

北山さんのご指導のもと、接客・販売の業務や積極的な声かけを行いました。限定コラボクレープサンドをはじめとするクレープを多くのお客様に購入いただき、大盛況に終わることができました。

クレープを購入したお客さんをパシャ！📷



クレープブランド「SmileBack Foodtruck」北山沙也加さん

①まちづくりフェスタを通しての感想

学生と一緒に出店する中で、先のことや周囲の状況を考え、一生懸命行動してくれたので、オペレーションもスムーズで楽しく営業できました。また、私にとっても良い経験になり感謝の気持ちでいっぱいです。

②もしまた札幌大学とコラボすることになったら、次はどんなことをやってみたいですか？

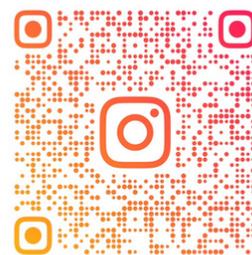
学生がチャレンジしたいと言ってくれたことに対して、一緒に作り上げたいと思います。



サポート学生と栗山町の方たちと
記念撮影！



北山さんと
ピース！



SMILEBACK_FOODTRUCK

出店情報が書いてある
カレンダーが
載っています！

栗山町サポート学生リーダー 伊達誠真さん

今回のまちづくりフェスタでは、栗山町が企画する段階から学生が関わりました。地域を知るだけでなく、社会人の基礎的なマナーも、関わりの中で実践的に学ぶことができました。また、限定コラボのクレープサンドを多くの方々に「おいしい」と召し上がっていただけてとても嬉しかったです。今回、サポートリーダーを務めて、コミュニケーションの図り方やイベントの企画・運営など、自分で感じた課題はありますが、コラボクレープの販売ができて、とても楽しく貴重な経験になりました。

